

② 小鍋谷工事用道路工事における安全対策について

(有)和仁建設 小鍋谷工事用道路工事
(工期 平成24年4月23日～平成24年11月22日)

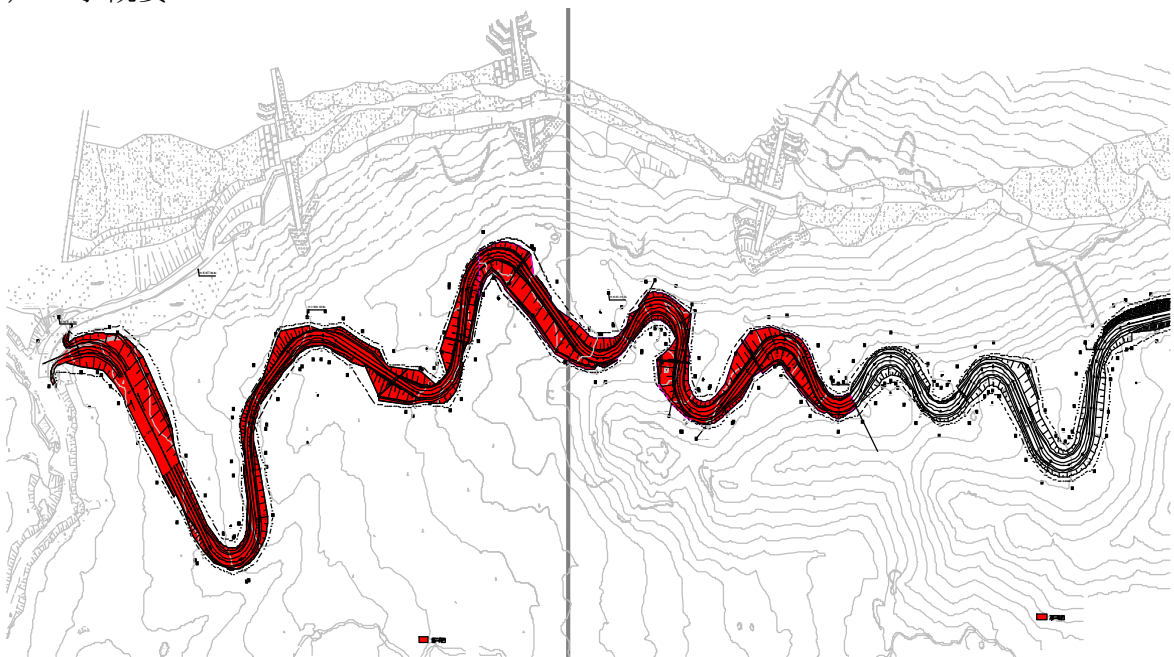
現場代理人 ○ 谷崎 雅博
主任技術者 滝本 宗一



1) はじめに

本工事は、中部山岳国立公園内に位置し、蒲田川上流域右俣谷の支流小鍋谷上流において、下流域で生活する人々や奥飛騨温泉郷および新穂高ロープウェイ等の観光施設に訪れる観光客の生命・財産そして自然環境を北アルプスの重荒廃地から発生する土砂災害から守る事を目的として、平成23年度までに小鍋谷砂防堰堤群(第1号～第11号)が完成しましたが、まだ土石流災害が発生する恐れがあるため、砂防堰堤の増設をおこなうための工事用道路を新設する工事です。

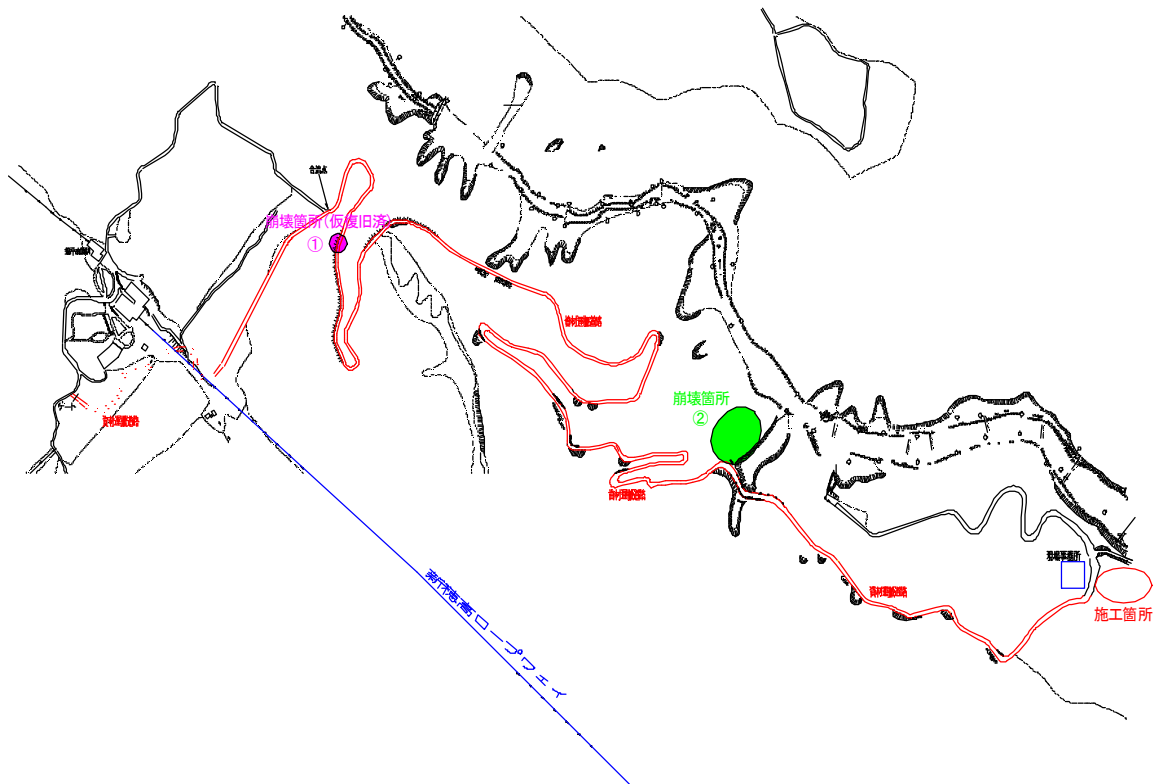
2) 工事概要



道 路 土 工	掘 削 工		10,050 m ³
	路体盛土工		6,390 m ³
	路床盛土工		2,430 m ³
	法面整形工	土羽土	760 m ³
		法面整形	5,600 m ³
	残土処理工		1 式
法 面 工	植 生 工	植生シート	2,520 m ²
		植生基材吹付	440 m ²
	法面吹付工	繊維モルタル吹付	1,345 m ²
排水構造物工			1 式
構造物撤去工			1 式
準 備 工	支障木伐採		1 式
	植物移植(希少植物)		1 式

3) 工事用道路の安全対策

当工事現場は、新穂高ロープウェイ白樺平駅から林道を4 km上がったところであり、平成21年の降雨による路肩の崩落箇所および平成23年の地震による崩落箇所(仮復旧済)を通行しなければならない。



安全対策

- ・ 仮復旧のおこなっているところが、未舗装で碎石のみとなっているため工事車両の通行時に路肩部に局所的な荷重が掛からぬよう、敷鉄板にて荷重を分散させ、前後に看板を設置し注意を呼びかけた。… ①



← ① 崩壊仮復旧箇所



- ・ 路肩の崩落箇所には柵を設置し路肩部へ入らぬよう明示し、変移計にて変移が起これば前後に設置している回転等にて通行車両および通行者が確認でき安全に通行できるようにした。… ②



○印が
スイッチ

- ・林道の通行における過積載は重大事故に繋がる可能性が大きいことから、過積載をおこなわないよう教育し、トラックスケールにて積載量を確認し積載目安を決めた。

また、KY時・入場者教育時・安全訓練等にて積込み基準を守るよう、積込みオペレーターおよび運転者に指示し認識の向上に努めた。



← 教育状況

積載量確認 ↓ →
(積載目安)



4) おわりに

工事用道路の安全対策について述べましたが、本工事は希少植物の移植から始まり支障木伐採といういつもとは違ったなれないところから始まりました。

無事故で終わったのも監督職員の方と工事関係者の皆様の多大な協力を頂いたからだと思います。

今後も小さな危険を摘みながら、よりよい作業環境を築き常に安全対策に目を向け、『無事故・無災害』に全力で取り組みたいと思います。

